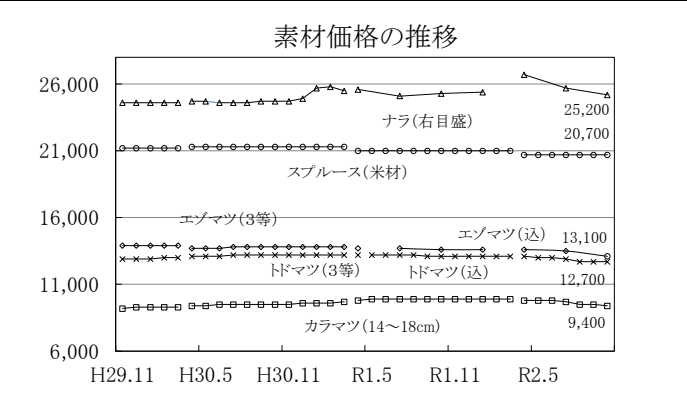
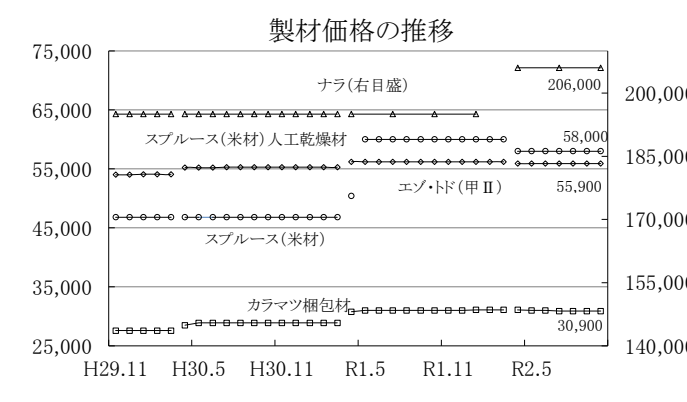
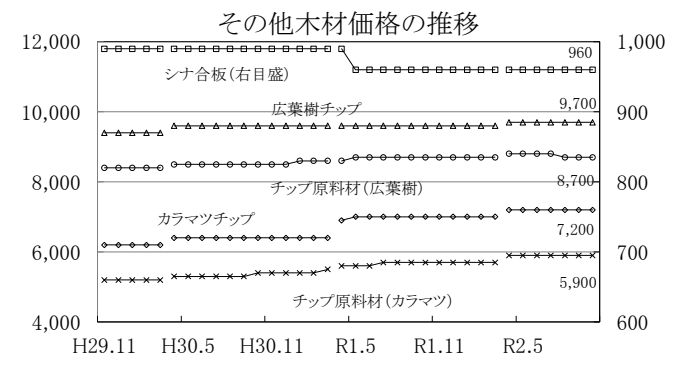


## 道内の木材市況概況(令和2年10月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向	
素材	トドマツ	径30~38cm 長3.65m 品等込	工場着	12,700	0	(道産材) ・エゾ・トド原木、カラマツ原木ともに、地域や工場により差はあるが、入荷調整などで在庫過剰感はやや緩和している。 エゾ・トド原木の市況は弱含み～保合。 カラマツ原木の市況は弱保合～保合。 ・広葉樹原木の市況は、樹種により弱気配～保合となっている。 (外国産材) ・米材丸太の9月の輸入量は7千 <sup>m</sup> (前月0千 <sup>m</sup> ・前年同月6千 <sup>m</sup> )。9月末港頭在荷量は8千 <sup>m</sup> (前月比380%・前年同月比67%)。	 <p style="text-align: center;">素材価格の推移</p>
	カラマツ	径14~18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,400	△ 100		
	カラマツ	径20~28cm 長3.65m 品等込	工場着	10,600	△ 100		
	*エゾマツ	径30~38cm 長3.65m 品等込	工場着	13,100	△ 400		
	*ナラ	径30~38cm 長2.4m 上品等3等	工場着	25,200	△ 500		
	スプルース(米材)	径30cm上 長込 品等込	港頭オントラ	20,700	0		
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	55,900	0	(道産材) ・エゾ・トド製材は、地域や工場により差はあるが、荷動きは弱いながらも回復傾向が見られる。市況は保合。 ・カラマツ梱包材・パレットは、地域や工場により差はあるが、短納期の注文が多いものの若干の回復傾向が見られる。市況は保合。 (住宅着工戸数) ・9月の新設住宅着工戸数は前年同月比101%。 (外国産材) ・米材製材の9月の輸入量は0千 <sup>m</sup> で前月比0%、前年同月比0%。9月末港頭在荷量1千 <sup>m</sup> 3で前月比75%、前年同月比26%。	 <p style="text-align: center;">製材価格の推移</p>
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	30,900	0		
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	206,000	0		
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込 人工乾燥材	港頭オントラ	58,000	0		
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	960	0	・市況は保合。	 <p style="text-align: center;">その他木材価格の推移</p>
チップ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	5,900	0	・チップ原料材は保合。 ・チップは保合。	
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	8,700	0		
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	7,200	0		
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	9,700	0		

注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。

注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。

注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。

注4 四半期項目(樹種名の前に「\*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。

注5 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3~4月価格は接続しないて表示する。